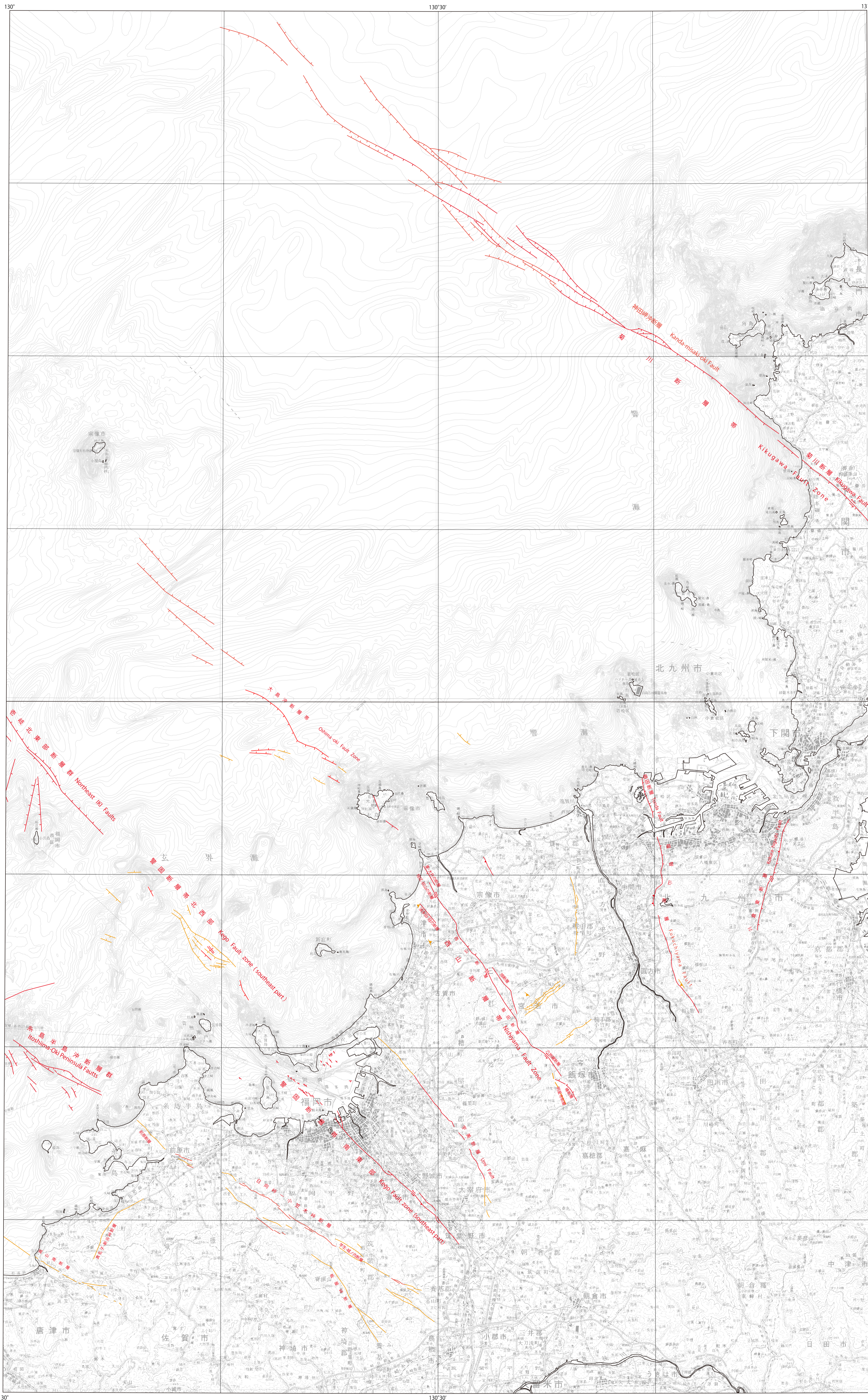


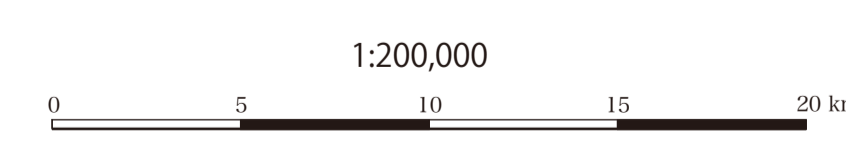
活断層図作成：尾崎正紀・中村洋介・松本 弾・水野清秀，平成 23-24 年

Active fault map compiled by Masanori OZAKI, Yosuke NAKAMURA, Dan MATSUMOTO, and Kiyohide MIZUNO in 2011-2012



活断層凡例
Legend of Active Fault

- 活断層 (後期更新世以降に活動したもの)
Active faults (active in the Late Pleistocene and Holocene)
- 推定活断層 (同上)
Inferred active faults (ditto)
- 変位のセンス (矢印は走向ずれの方向，けはは落下側を，三角は逆断層の隆起側を示す)
Sense of displacement of above faults (arrows indicate strike-slip direction, ticks show downthrown side, and triangles denote upthrown side of reverse fault)



この海陸一貫地質情報集の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 200000 (地図画像)、数値地図 25000 (地図画像)、数値地図 50mメッシュ (標高) 及び数値地図 5mメッシュ (標高) を使用した。(承認番号 平 23 特発 第 01 号)
海上保安庁許可第 42201 号 (水測業務従事者等に基づく複製発行権)
海底地形は、(財)日本水路協会の海底地形デジタルデータ (V014 対海海床) による。
この海陸一貫地質情報集を出版物等で利用する場合は、産総研地質調査総合センターの承認が必要である。また、用いた地形図及び標高地形図についても、国土地理院及び海上保安庁の承認が必要である。
緯度経度は世界測地系による。
Latitude and longitude values referred to the International Terrestrial Reference Frame (ITRF)
地図投影法はユニバーサル横断メルカトル法による。
Map projection is the Universal Transverse Mercator coordination system